

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	厚生労働科学研究費補助金		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和26年		担当課室	厚生科学課		塚原 太郎		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-5 厚生労働分野の科学技術の研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働科学研究費補助金取扱規程 (平成10年4月9日厚生省告示第130号)		関係する計画、通知等	・「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定) ・「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。(補助率10/10)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	△ 161	△ 604	0	0		
		繰越し等	24	△ 222	△ 305	565		
		計	42,628	47,527	46,897	44,393	53,651	
	執行額	42,556	47,410	46,767				
	執行率 (%)	99.8%	99.8%	99.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	研究の目的や成果は研究課題毎に異なるため、これらの成果を数値で示すことは困難		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	採択件数		活動実績 (当初見込み)	件	1,364	1,594	1,571	1,423
					—	—	—	—
単位当たりコスト	— (円/ —)		算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	厚生労働科学研究費補助金	43,828	53,651	ライフイノベーション、東日本大震災等を踏まえた研究の推進による増 東日本大震災復興関連事業(1,495百万円)				
	計	43,828	53,651					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後も引き続き、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図る必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業については、事業目的及び執行の観点から概ね妥当であるが、より必要性が高い重点分野へ優先した配分を考慮し、効率的な予算要求を行うこと。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
概算要求枠について、厚生労働行政の推進のために、より必要性の高い研究に配慮しつつ、事業全体を効率化したことによる減額(△5,902百万円)			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省
46,767百万円

A 個人(1533課題) 42,025百万円

(内訳) 上位10課題への支出先

研究者A	610百万円
研究者B	560百万円
研究者C	500百万円
研究者D	439百万円
研究者E	410百万円
研究者F	398百万円
研究者G	290百万円
研究者H	290百万円
研究者I	277百万円
研究者J	249百万円

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

B 法人(38課題) 4,742百万円

(内訳) 上位10課題への支出先

社団法人日本医師会	1,111百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 (政策創薬総合研究事業分)	768百万円
財団法人国際協力医学研究振興財団	467百万円
財団法人がん研究振興財団	366百万円
財団法人エイズ予防財団 (エイズ対策研究推進事業分)	364百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 (政策創薬総合研究推進事業分)	204百万円
財団法人エイズ予防財団 (エイズ対策研究事業分)	170百万円
日本対がん協会	152百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 (創薬バイオマーカー探索研究推進事業分)	102百万円
財団法人医療機器センター	100百万円

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.研究者A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	試薬、事務用品等	193			
間接経費	研究機関の管理費等	140			
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	106			
人件費	研究協力者への各種手当等	100			
備品費	研究機器等	67			
旅費	国内旅費及び外国旅費	1			
雑役務費	研究に係る役務の提供等	1			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	2			
計		610	計		0
B.社団法人日本医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	420			
間接経費	研究機関の管理費等	240			
消耗品費	試薬、事務用品等	193			
人件費	研究協力者への各種手当等	45			
賃金	研究補助等を行う者への賃金	45			
旅費	国内旅費及び外国旅費	34			
諸謝金	研究協力者への謝金	23			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	111			
計		1,111	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研究者A	肝細胞増殖因子による筋萎縮性側索硬化症に対する新規治療法の開発	610	—	—
2	研究者B	重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した新規治療法の開発と実践	560	—	—
3	研究者C	疾患特異的iPS細胞を用いた難治性疾患の画期的診断・治療法の開発に関する研究	500	—	—
4	研究者D	免疫修飾薬による多発性硬化症の治療成績向上を実現する探索的研究	439	—	—
5	研究者E	細胞培養系を用いた新型インフルエンザワクチンの開発研究	410	—	—
6	研究者F	トキシコゲノミクスデータベースを活用した毒性メカニズムに基づく医薬品安全性評価に関する研究	398	—	—
7	研究者G	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	290	—	—
8	研究者H	疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	290	—	—
9	研究者I	重症肺高血圧症の予後と生活の質を改善するための低侵襲かつ安全安心な吸入ナノ医療の実用化臨床研究	277	—	—
10	研究者J	腎疾患重症化予防のための戦略研究	249	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人日本医師会	治験推進研究事業	1,111	—	—
2	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	政策創薬総合研究	768	—	—
3	財団法人国際協力医学研究振興財団	糖尿病予防のための戦略研究	467	—	—
4	財団法人がん研究振興財団	第3次対がん総合戦略研究推進事業	366	—	—
5	財団法人エイズ予防財団	エイズ対策研究推進事業	364	—	—
6	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	政策創薬総合研究推進事業	204	—	—
7	財団法人エイズ予防財団	エイズ予防のための戦略研究	170	—	—
8	財団法人日本対がん協会	乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較研究	152	—	—
9	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	創薬バイオマーカー探索研究事業	102	—	—
10	財団法人医療機器センター	第3次対がん総合戦略研究推進事業	100	—	—